

令和5年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立小佐々小学校	作成者	職名	教頭
電話番号	0956-68-2012		氏名	茂山 康代
1 年間の実施内容（取組状況・実績等）				
4月	実施テーマ	ア	情報セキュリティ対策の徹底 イ パワハラ、セクハラ、わいせつ行為の禁止 ウ 体罰の禁止	
<p>取組の評価・改善点</p> <p>ア 情報セキュリティ対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・USBの使用に際するウイルスチェックの確実な実施と個人情報の取扱いを含めた情報セキュリティに関する再確認を行い、職員の情報管理に関する危機管理意識の向上を図った。 <p>イ パワハラ、セクハラ、わいせつ行為の禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修の時間に「わいせつ行為等防止自己分析チェック」の実施、教職員の懲戒基準について「あなたとあなたの大切な人を守るために」、不祥事防止ハンドブックを活用した研修を実施した。 ・コンプライアンス通信を配付したり、過去の事例等について確認したりすることで、不祥事を起こさない意識の向上を図った。 <p>ウ 体罰の禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初の職員研修にて、「教師が上げるのは拳ではなく、指導の技術であること」を確認するとともに、適切な言葉による指導を徹底することを共通理解した。また、生活指導上の問題事案には、チームで対応することを共通理解した。 ・校内巡視による定期的な授業観察等を行い、指導状況の把握に努めた。 				
7月	実施テーマ	ア	飲酒運転の根絶 イ 公金等の不正処理の防止 ウ 情報セキュリティ対策の徹底	
<p>取組の評価・改善点</p> <p>ア 飲酒運転の根絶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育公務員として交通法規の遵守及び飲酒運転の根絶について職員連絡会などで周知し、意識向上を図った。 <p>イ 公金等の不正処理の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計簿の点検を相互に行い、公金の残置がないようにチェックを徹底した。 <p>ウ 情報セキュリティーについての研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月1日情報セキュリティインシデントについて、ウイルス対策ソフトを常に最新の状態にしておくことを指導し、情報セキュリティ対策を徹底して行うよう指導した。 				
12月	実施テーマ	ア	飲酒運転の根絶と交通安全の徹底 イ 体罰の禁止（外部講師招聘） ウ 学校情報ネットワーク強靱化、	
<p>取組の評価・改善点</p> <p>ア 飲酒運転の根絶と交通安全の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・綱紀の保持に関する通知通達をはじめ県内で発生した飲酒による過去の処分事例について周知するとともに教育公務員としての誇りをもって行動することについて考え、不祥事防止の意識向上を図った。 ・交通事故防止については、長期休業前をはじめ、機会をとらえて教育公務員としての行動をすることについての啓発を行い、安全意識を高めるとともに、万が一、事故が発生した際の正しい対応の仕方について、実際の事例をもとに管理職から指導を行った。 				

- ・運転免許の有効期限についての確認と免許更新期限の確認、声掛けを行った。
- イ 人権や体罰根絶に向けた研修
- ・人権擁護委員の方々を招聘して、人権擁護や体罰の根絶に向けて具体例を通してグループ活動を行い研修した。人権や体罰根絶のためにできることについて深く考えたり、確認し合ったりすることで理解を深め、共通理解できた。
 - ・通知通達は口頭による指導及び資料の配付をしたり、コンプライアンス通信を配付したりして逐一確認することで、体罰によらない指導を行うことの意識の確認を行った。
 - ・校内巡視による定期的な授業観察等を行い、指導状況の把握に努めた。
 - ・問題行動に対する指導には学級担任だけではなく、複数の職員であった。
- ウ 学校情報ネットワーク強化
- ・USB使用に際するウイルスチェックの確実な実施と個人情報の取扱いを含めた情報セキュリティに関する再確認を行った。職員の情報管理に関する危機管理意識の向上を図った。

2 服務規律委員会

委員会名 小佐々小服務規律委員会

構成員 所属内委員（5名）、外部委員（1名 役職等：PTA会長）

3 年間を通しての計画の達成状況

年間を通しての取組状況チェックリスト

- (1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。（複数回答可）

イ	ウ	オ							
その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）									

- (2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。
※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ）。

(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった
---------	-----------	-----------	------------

- (3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。

(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった
---------	-----------	-----------	------------

- (4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。

(○) できた	() 概ねできた	() 不十分だった	() 実施していない
---------	-----------	------------	-------------

資料添付 有 ・ (無)